

人権週間 (12月4日～10日)

だれにでも、等しく、幸せに生きる権利があります。人権尊重のまちづくりを、いっしょに考えてみませんか。

人権週間について、社会教育指導員のクミさんとヒロさんに聞いてみました。

——そもそも、人権週間とは何ですか？

(クミ) 人権とは、一人ひとりが生まれた時から持っている「自分らしく生きる権利」のことです。この人権週間とは、一人ひとりの違いを認めたり、自分や友達の良いところを見つれたり、それぞれが大切な存在であることを知る大切な1週間です。

——「人権週間」はいつ決められたのですか？

(ヒロ) 人権週間が決められたきっかけは、第2次世界大戦が終わった後の1948年(昭和23年)12月10日の国際連合第3回総会で、世界人権宣言が採択されたことに端を発します。

日本では、翌年の1949年(昭和24年)から毎年12月10日を最終日とする1週間を、「人権週間」と定めました。

——人権週間ではどういうことをするのですか？

(クミ) この人権週間に合わせて、人権尊重の大切さを訴えるために、全国各地でいろいろな啓発活動を行います。法務省では、毎年、啓発活動の重点目標を決め、今年は「みんなで築こう 人権



の世紀を考えよう 相手の気持ち 未来へつながよう 違いを認め合う心」をスローガンとして取り組んでいます。

——多久ではどういう取り組みをされるのですか？

(ヒロ) 先月の25日に行った人権フェスタもその取り組みの一つです。また、毎年人権標語や人権ポスターの募集も行っています。今年もたくさんの方の応募をいただきました。この人権標語の入選作品と人権ポスターの応募作品は中央公民館に展示していますので、ぜひご覧ください。(12月10日まで)



人権標語 (応募総数1,248点)

最優秀賞

- 宮地 葵生 (東原彦舎中央校 3年)
「きみとぼく ちがうところが いいところ」
飯盛 沙月 (東原彦舎中央校 8年)
「ひとりひとは 違うけど
いのちの重さは かわらない」
前田香代子 (南多久町)
「おもいやり あふれるところに 差別なし」

優秀賞

- 久保田向慳 (東原彦舎西溪校 1年)
山田 優空 (東原彦舎中央校 7年)
久野 好子 (多久町)
大西 史弥 (東原彦舎東部校 2年)
宮中優々笑 (東原彦舎中央校 5年)
堤 彩花 (東原彦舎西溪校 7年)
平山 夏琳 (東原彦舎東部校 7年)
白濱 直子 (小城市)
池田 照美 (小城市)

入選

人権ポスター (応募総数161点)

最優秀賞

- 藤田 仁美 (東原彦舎中央校 6年)
永石 瑞季 (東原彦舎中央校 8年)



優秀賞

- 尾形朱美佳 (東原彦舎東部校 6年)
浦田 桃花 (東原彦舎中央校 7年)
小松 愛奈 (東原彦舎中央校 6年)
陣内香菜子 (東原彦舎西溪校 4年)
牟田 希陽 (東原彦舎西溪校 7年)
吉富 美味 (東原彦舎中央校 8年)

入選

(敬称略)

問い合わせ

人権・同和対策課 ☎75-4824